

芸術 文化

新たに3件の文化財が指定されました

問文化課 ☎84・1811

市には52件の市指定文化財がありますが、このたび(平成31年3月19日)新たに3件が加わりました。

王子窯モロ(東洞町) 1棟 種別:有形文化財(建造物)

陶磁器を生産する工房のことを瀬戸では「モロ」と言います。王子窯モロは明治33(1900)年に建てられた木造2階建ての平入切妻造り建物です。昭和43(1968)年まで使われていた焼成室11房からなる連房式登窯の王子窯で、製品を焼成していました。1階には陶器をつくるための粘土置場やロクロ場があり、乾燥を避けるためにほとんど窓がない構造で、近代のモロに多くみられる一つのモーターを動力としてロクロや土練機などを動かす仕組みが残されています。

王子窯モロは、これらの近代の「モロ」の構造を良好に保っている貴重な文化財です。



王子窯モロ 1階ロクロ場

陶彦社 本殿・幣殿・拝殿・築地塀(深川町) 4棟 種別:有形文化財(建造物)

深川神社の末社として陶彦社は文政7(1824)年に創建され、現在の社殿は大正15(1926)年に建てられたものです。本殿は一間社流造建物で、梁間三間・桁行三間の入母屋造の拝殿と連絡する建物として幣殿が建てられています。これらの中心的な社殿は、伝統的な神社建築でありながら、^{かえる}臺股や木鼻などの細部に、西洋の意匠を取り込み斬新で洗練された建築美が特徴的であり、瀬戸市域はもとより周辺地域にも類例をみない貴重な近代和風建築です。これらの建物を取り囲んで同時期に建てられた築地塀も緑釉の織部瓦を用いたもので、本殿・拝殿の前に鎮座する2対の陶製狛犬ほかとともに指定文化財となりました。



陶彦社(本殿)

本地の警固祭り(本地地区) 1件 種別:無形民俗文化財

本地の警固祭りは、古くは江戸時代の猿投神社祭礼に奉納するムラ単位の飾り馬に端を発したものです。明治期以降は郷社とされた山口八幡社に山口村・菱野村などとともに献馬奉納する「郷社祭り」にも引き継がれ、今日行われている祭礼はその本地地区の飾り馬を鉄砲隊等が警固して本地八幡社へ奉納する形をとっており、先に瀬戸市の無形民俗文化財指定されています「山口の警固祭り」「菱野のおでく警固祭り」と共に貴重な文化財です。



本地の警固祭り(鉄砲隊)

文化センターは、保守点検のため4月9日(火)を臨時休館します。

瀬戸蔵は、保守点検のため4月22日(月)を全館休館(駐車場は利用可)します。

文化センター ☎84・1811

瀬戸蔵 ☎97・1555